



十二町っ子だより

学校だより 第5号
令和7年9月1日
氷見市立十二町小学校

2学期のスタート～なりたい自分を目指して～

8月27日に2学期をスタートしました。事故や事件に遭うことなく、元気に登校してきた子供たち。夏休みの楽しさや頑張りがそれぞれの顔から伺え、一回りたくましくなったように感じました。

始業式では、1学期よりレベルアップした「なりたい自分」に向け、頑張りたいことを考えるように呼びかけました。ご家庭でも、2学期はどんな自分になりたいのか、ぜひ、尋ねてみてください。一人一人が「なりたい自分」に近づく2学期になるよう支援していきますので、励ましをお願いいたします。

2学期は、高齢者宅訪問、ふれあいウォークラリー、学習発表会、もちつき大会等、家庭や地域と触れ合う行事が予定されています。温かい交流の中で、子供たちが自分のよさを発揮するとともに、地域のよさを感じ、愛着を深めていくことを願っています。

思い出に残る夕べの集い

今年も6年生を中心に、4・5年生が協力して夕べの集いの企画・準備・運営を行いました。「思い出に残る最高で楽しい夕べの集い」というテーマのとおり、どの模擬店でも子供たちの笑顔があふれました。保育園児や本校の卒業生である高校生も参加してくれました。相手に合わせて丁寧に説明する上学年の姿に頼もしさを感じました。

PTA 児童委員会の皆さんが企画してくださった模擬店も大盛況でした。子供たちの活動が充実するようにご協力くださったPTAの皆さん、そして送迎等、子供たちの活動を支えてくださった保護者の皆さん、どうもありがとうございました。

早朝親子除草 ありがとうございました

8月24日の早朝親子除草では、グラウンドの除草やペンキ塗りに親子で取り組んでいただきました。多くの保護者の皆さんにご協力いただいたおかげで、グラウンドや花壇の植え込み等がきれいになり、気持ちよく2学期をスタートすることができました。ありがとうございました。

学校運営協議会

8月28日に学校運営協議会を行いました。アクションプランの中間評価から見えてきた子供たちの頑張りと課題、改善のための方策をお伝えした後、更なる成長に向けての意見交換を行いました。アクションプラン1については、子供たちが対話タイム等で話しやすくなるよう、ワークシートを活用するなどの案が出されました。アクションプラン2については、大きな声で挨拶できる子供が多いこと、登下校時の挨拶で元気をもらえること、停車した車に向けてお礼する子供もいること等、挨拶に関するよさが出されました。今後は、更に挨拶の質を高めたり、互いのよさを認める場を設けたりしながら、豊かな心の醸成に努めていきます。

また、2学期の様々な行事についても話し合い、共通理解を図りました。これからも、地域との関わりを大切にしながら連携を深め、教育活動を推進していきたいと思っております。

アクションプラン中間報告

学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。中間評価の結果から方策を見直し、改善に向けて取り組んでいきます。

アクションプラン1	アクションプラン2
<p>友達の話をよく聞き、自分の思いや考えを分かりやすく話すことができる。・・・80%以上</p>	<p>相手の気持ちを考えた言葉がけや行動をすることができる。・・・80%以上</p>
<p>行動Ⅰの方策と中間評価 評価 A…目標達成に効果があった B…やや効果があった C…あまり効果がなかった</p>	
<p>〈方策1〉【評価B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の話を聞く態度を向上できるように「聞き方表」を教室に掲示し、対話タイムや授業でのペア・グループ学習で活用するとともに、自分の態度を振り返る機会を確保する。 <p>〈方策2〉【評価C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや考えを分かりやすく伝えられるよう、発達段階に応じた「話型」を掲示し、その言葉を生かして話す機会を確保する。 	<p>〈方策1〉【評価A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが主体となって挨拶運動を進めることができるよう、代表委員会が方策を考え、継続して実践と振り返りを行う。 <p>〈方策2〉【評価B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いができるよう、互いに認め合う機会を日常的に設定する。また、「ほかほかの木」の掲示や「ほかほか週間」を設定し、実践意欲を高める。
<p>アンケート結果 ○%・・・「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の合計</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業や対話タイムで話を聞くことができた 相手を見て・いい姿勢で ……児童 89% うなずきながら・笑顔で・終わりまで ……児童 83% ・授業や対話タイムで話すことができた 全員に聞こえる大きさ・速さで ……児童 87% まず・そして・次に等を使って詳しく ……児童 66% ・家庭での対話タイムで「いつ、どこで、誰と」や理由や例え等を踏まえて詳しく話していた ……保護者 88% (内A評価 16%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をすることができた 大きな声で・笑顔で・相手を見て ……児童 90% 気持ちを込めて・積極的に ……児童 84% ・友達の気持ちを考えた言動ができた ……児童 86% ・友達のよいところを見付け、伝えた ……児童 83% ・子供は家庭で挨拶をしている ……保護者 91% ・子供は地域の人に挨拶をしている ……保護者 88% ・子供は友達の気持ちを考えて話したり接したりしている ……保護者 93% (内A評価 21%)
<p>行動Ⅱの方策</p>	
<p>〈方策1〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の話を聞く態度を向上できるように、「聞き方表」の中から重点を決め、具体的な行動目標を設定するとともに、ワークシートを活用し、自分自身の聞き方を振り返るようにする。 <p>〈方策2〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや考えを分かりやすく伝えられるよう、友達に誘って話す、順序を工夫して話すなど、「話型」の中から重点を決め、具体的な行動目標を設定するとともに、ワークシートを活用し、自分自身の話し方を振り返るようにする。 	<p>〈方策1〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが主体となって、気持ちのよい挨拶ができるよう、6年生や代表委員を中心に、挨拶に関する現状や課題を踏まえて方策を話し合い、実態に応じた目標設定を行いながら、挨拶運動を行う。 <p>〈方策2〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いができるよう、帰りの会や学活等において、互いに認め合う機会を日常的に設定する。 ・挨拶や相手の気持ちを考えた言動等、よいところをカードに書いて「十二町っ子ほかほかの木」に掲示することによって、互いを認め、大切にしようとする気持ちを高める。

校歌がクイズに



本校の校歌がTBSのテレビ番組内の「校歌逆算クイズ」に取り上げられました。本校の校歌には「立山連峰東に」「二上の山南に」等の歌詞があります。ここから富山県氷見市であることは予想がつきますが、最後の決め手は2番の歌詞の「万尾川下は十二町瀧」だったようです。「十二町小学校」という名前が出たときには、「よくぞ探し当ててくださった」という気持ちでした。地名と方角等、適度なヒントが散りばめられていることばかりではなく、豊かな自然と万葉の歴史が感じられる歌詞を通して学校や地域の個性が浮かび上がることも、今回選ばれた理由かもしれません。この校歌は創立百周年を記念して制定されました。これからも、校歌への誇りを胸に大切に歌い継いでいってほしいと思います。